

希望を胸に 入学・入園

町内の小・中・高校やこども園では、4月6日と10日に入学式・入園式が行われ、新入生たちが希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。



誓いの言葉を述べる黒須さん(東中学校)

125 人が決意を新たに

町内3中学校の入学式は4月6日に行われ、新1年生125人が希望を胸に新たな学びの門をくぐりました。

32人が入学した東中学校では、渡部博之校長が「東中学校の生徒としての誇りと自覚を持って、充実した3年間を過ごしてください」と式辞。在校生代表の佐藤 駿 丞さんが歓迎の言葉を述べました。新入生を代表し、黒須大樹さんが「先輩方が築いてきた東中学校の伝統を学び、さらに発展させたいです」と誓いのことばを述べました。

こども園で一緒に遊ぼう

ひまわりこども園とさくらこども園の入園式は4月8日に行われ、新入園児たちが楽しい園生活をスタートさせました。

昨年の開園以来2回目の入園式となったひまわりこども園では、0歳児から5歳児まで合わせて113人が入園しました。式では、新入園児が大勢の保護者や来賓に拍手で迎えられ入場。関和清智園長が入園を許可し、「こども園は歌を歌ったりお友達と仲良く遊んだりするところです。毎日元気にこども園に来てください」と式辞を述べました。



元気に入園式に臨む園児たち(ひまわりこども園)

希望に満ちた小学校生活

町内6小学校の入学式は4月6日に行われ、新1年生97人が希望に満ちた小学校生活をスタートさせました。

6人が入学した緑小学校では、新入生が入場すると在校生らは盛大な拍手で歓迎。児童一人一人の名前が呼ばれた後、服部秀夫校長が新入生代表の佐藤暖花さんに教科書を手渡しました。服部校長は「元気に登校して、『おはようございます』を響かせてください」と式辞。在校生を代表して小檜山詩音さんが「私たちと楽しく過ごしましょう」と歓迎の言葉を述べました。



入学式に臨む1年生(緑小学校)

第70期生35人が入学

猪苗代高校の入学式は4月10日に行われ、普通科24人、観光ビジネス科11人の合わせて35人が期待を胸に新たな一歩を踏み出しました。

式では、佐藤京治校長が全員の入学を許可し「3年間、最善の工夫と最大の努力を心掛けてほしい。未来と自分を変えることができます」と式辞。新入生を代表し、普通科の安部マリアさんが「猪苗代高校の歴史と伝統を受け継ぎ、互いを思いやる気持ちを胸に日々努力します」と誓いの言葉を述べました。



期待を胸に式に臨む新入生(猪苗代高校)



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

結翔くんの名前には「人と人をつなぎ、他人を思いやり、周囲の人と仲良くできる人になってほしい」。そんなパパとママの願いが込められています。

鈴木 結翔 くん

平成27年1月生まれ

～西館

一義さん・幸子さんご夫妻の長男

自動車が大好きな結翔くん。ミニカーを縦一列に並べ、後ろからゆつくりと押して車のパレード。自動車のほか、建設機械なども大好きなんだそう。2歳年上のお姉さんの葵ちゃんとはパパとママの真似をしたままごとをしたり、追いかけて遊ぶ。葵ちゃんは「ゆうくんはちっちゃいけどお父さんです」と誇らしげに話します。

普段は祖母の久子さんと一緒に過ごしている結翔くん。天気のいい日は近所を散歩したり、ふきのとうを採ったりしているんだとか。

ママの幸子さんは「友達をたくさん作って、明るく元気に育ってほしいです」と笑顔で話します。家族の愛情をたっぷり受けて、結翔くんは元気に成長しています。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

元気に介護予防



5分歩行のタイム測定



体操を行う西久保地区の参加者

地域のみんなで介護予防 「元氣わくわくシニアプロジェクト」

町では、介護予防の取り組みとして、「元氣わくわくシニアプロジェクト」を行っています。この取り組みは、「週に1回程度、町民の皆さんの身近な場所で30分程度体操をする」もので、高齢者に限らずどなたでも参加できます。

西久保地区では、今年1月からこの取り組みをスタート。参加者が会場を確保し、自主的に体操などの運動を行っています。

開始から3カ月後の評価を行うための測定会は4月19日、西久保公民館で行われ、西久保地区から13人が参加。30分間体操をした後、握力や片足立ちなどの測定を行ったところ、開始時と比較して全体的に結果が向上していました。

「元氣わくわくシニアプロジェクト」の詳細については、町保健福祉課高齢者福祉係までお問い合わせください。

☎(62)2115